別紙１－２

第３６回東京総合健保硬式テニス大会
新型コロナウイルス対策について

1. 大会開催について

本大会における感染防止対策については、日本スポーツ協会「スポーツイベント再開ガイドライン」及び日本テニス協会「JTA 公式テニストーナメント開催ガイドライン」に準じて、参加者・審判・スタッフ等に周知のうえ、ご協力をいただき大会を開催することといたします。

(1) 日本テニス協会ガイドラインのステップに応じた大会開催の計画

令和３年６月１日時点（HP 公開）　ガイドラインのステップ ステップ 5 「全国的かつ大規模な大会（128 名程度以上※）」※1 種目あたりの参加人数 都道府県境を越え、地域全国から選手が参加するが、無観客で開催される大会

① 募集枠

ガイドラインのステップに準じて例年と同様の募集枠とします。

② 応援

原則､応援のための来場は控えるようお願いします(家庭事情等のやむを得ない場合を除く)。

(2) 開催可否の第一判断基準日：令和３年 11 月１日（金）

第一判断基準日において、ガイドラインのステップが 3 以下（都道府県内に参加者が限定・参加人数の制限）であった場合、本大会要綱による実施は不可能となることから、本大会は中止とします。なお、11 月 1 日から開催までの期間は、随時、感染拡大状況に応じて判断を行うこととなりますのでご留意ください。

(3) 大会開催期間中に参加者・関係者等から感染者が発生した場合は、後続のスケジュールを中止とすることがあります。

(4) 開会式・表彰、受付

① 開会式（準備体操含む）は行わず、表彰式は簡略化して実施する

② プレーコートの 3 区画に分かれて、各々の場所で受付～試合まで完結する

③ オーダーオブプレー表（試合の時間割表）の事前配付にて、受付時間を分散する

以上の対策により、参加者の密集を回避することとします。

※②・③は大宮会場のみの取り扱い

(5) 大会開催可否に係る情報は､随時組合へ連絡するほか､東振協ホームページ上でも公開します。

・東振協　イベント情報サイト　http://toshinkyo.sblo.jp/

2. 大会主催者としての対策

(1) 大会主催者が準備等すべき事項として、ガイドラインが示す事項を遵守するほか、以下の対策を行います。

① 受付時にハンディタイプの手指消毒剤を配付しますので、適宜消毒をお願いします。

② 更衣室用のテントは、感染リスクが比較的高いと考えられることから設置しませんので、なるべくウエア着用での来場をお願いします。やむを得ず更衣する場合は、クラブハウスの更衣室を利用のうえ、施設運営者が講じた感染症対策に従うようお願いします。

3. 申込前の確認事項

(1) 参加申込前に、以下事項についてご確認いただき、遵守をお願いします。

① 大会当日の**体温が 37.5℃以上**に該当（東振協の保健事業の目安）、もしくは「健康チェックシート兼受付票」※（以下「チェックシート」という。）の**チェック項目に１つでも該当**した場合、来場を見合わせ、大会事務局へ連絡する（軽度な症状であっても同様の扱いとする）

※チェックシートは参加者決定後に組合から配布予定のほか、10 月下旬頃から東振協ホームページからもダウンロードできます。

② 上記①の事項に該当、もしくは事前検温（チェックシートの提出）・受付時の検温により、体温が 37.5℃以上であることが判明した場合、その場で入場不可とする

③ 当日の検温及びチェックシートの提出確認のため、大会主催者から配付されたリストバンドを大会開催中は常時着用すること

④ マスクの持参、プレイ時以外の着用（参加受付、着替え、会話等）

⑤ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施

⑥ 他の参加者、スタッフ等との距離（できるだけ２ｍを目安に（最低１ｍ））を確保

⑦ 会場及びその周辺で大きな声で会話、応援等をしない

⑧ 感染防止のために大会主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従う

⑨ 大会終了後２週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する

⑩ 厚生労働省の「COCOA システム」を極力利用する

4. 大会当日の参加受付時の留意事項

(1) 大会当日の参加受付時は、以下事項についてご留意ください。

① 受付時に、大会スタッフによる検温を受けること

② 受付は、選手番号と氏名を記入したチェックシートの提出により完了とする

※未提出は参加不可

③ 受付時の検温及びチェックシートの提出確認済者は、大会主催者が配付するリストバンドを大会終了まで常時着用する

④ やむを得ず随行して来場する場合についても、体調・連絡先を把握する必要があるため、参加者と同時にチェックシートの提出、受付での検温、リストバンドの着用を行う

⑤ 提出後のチェックシートは、医療専門スタッフにより項目確認等を行う

※チェックシートの項目確認等により、大会当日の体温が 37.5℃以上に該当、もしくはチェック項目に１つでも該当することが判明した場合、問診等専用の誘導場所に案内し、本大会要綱に即した判断に加えて医療専門スタッフの医療的見地による説明を行い、入場不可の扱

いとする

⑥ 参加賞は、受付のテーブルとは別に設置するので、参加者は自ら参加賞を受け取ること

5. 選手の試合中の遵守事項

(1) プレイ中は、以下事項について遵守をお願いします。

① ポイント間（ポイントとポイントの間）は対戦相手、パートナーとの距離を２メートル以上確保する

② 試合の始めと終わりの挨拶は握手でない方法で行う

③ チェンジエンドの際も対戦相手、パートナーとの距離を２メートル以上確保する

④ ラケットや自らの試合で使用するボールなどプレイに必要なもの以外にはコートサーフェス（コートの床面）も含めできるだけ手で触れない

⑤ タオルの共用はしない

⑥ タオルは手が触れる面と顔に触れる面を使い分ける

⑦ プレイ中は手で顔にふれるのを避ける

⑧ ラケット・水筒をはじめとする用具をパートナーや対戦相手と共有しない

⑨ 咳、くしゃみの際は腕で口を覆う

⑩ 唾や痰をはくことは極力行わない

⑪ 試合中のマスクの着用は参加者等の判断によるものとするが、熱中症や呼吸困難には十分注意する

6. 大会スタッフに係わる施策

(1) 参加者と同様に、チェックシートの当日提出・検温・リストバンドの着用を求め、参加基準も同等とします。

7. リスク管理

(1) 大会主催者として、万が一感染者が発生した場合のリスク管理として以下事項に備える。

① 大会終了後に参加者等から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合、速やかに大会主催者は以下に連絡して指示を仰ぐ（厚生労働省の電話相談窓口：0120-565653）

② 本大会にて新型コロナウイルス感染症が発生した場合、東振協ホームページ上にその旨を公開し、直近営業日に参加者が加入する会員組合に連絡する

③ 参加者への個別連絡については、濃厚接触者としての認定も含め当局の指示に従う

8. その他

(1) 大会終了から 2 週間経過後、本大会に係るコロナウイルス感染者が一切発生しなかった場合、その旨を東振協ホームページ上に公開します。

(2) 大会当日の受付時、新型コロナウイルス感染疑いによる入場拒否が発生した場合、事前に入金された参加費は返金不可とします。

(3) 新型コロナウイルス感染拡大に起因して開催前に大会を中止とした場合、事前入金された参加費は返金します。